

平成 15 年度老人保健事業推進費等補助金による研究報告書

平成 15 年度

小規模ケアにおける効果的介入方法モデルの作成

報 告 書



SENDAI Dementia Care Research and Training Center

社会福祉法人 東北福祉会

高齢者痴呆介護研究・研修仙台センター

この報告書をご覧ください皆様へ

本研究では、介護職員の方の効果的なコミュニケーション方法について、2つの研究から検討しました。1つは、介護職員のコミュニケーションの評価（研究Ⅰ）に関するもので、もう1つは小集団コミュニケーションにおける介護職員の役割（研究Ⅱ）についてです。これらの研究をもとに、介護職員のケアのあり方について、コミュニケーションの観点からまとめ、これを普及していくための資料を提出することを目的としました。

この報告書は、上記の2つの研究をまとめたもので、研究方法や結果の詳しい説明が付けられています。そのため、全体としてはやや長いものとなっています。

報告書末尾の「まとめ」（43～46 ページ）で研究全体の概要とまとめを示しておりますので、概要をお知りになりたい方は、「まとめ」をご覧ください。

もくじ

はじめに 1

研究Ⅰ：介護者コミュニケーションの評価に関する研究 3

問題と目的 3

グループホーム職員に対するヒアリング調査 5

評価研究① 10

評価研究② 21

研究Ⅰのまとめ 31

研究Ⅱ：小集団コミュニケーションにおける介護職員の役割 33

問題と目的 33

方法 34

結果 37

考察 41

まとめ：小規模ケアにおける効果的介入方法モデルの作成に向けて 43

謝辞